

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズクラブLittle by little		
○保護者評価実施期間	令和7年12月10日		～ 令和8年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和7年12月10日		～ 令和8年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・異年齢との交流活動や室内だけでなく、屋外での活動も多く、取り入れるなど、さまざまな経験や体験も行えるようにしている。	・近隣の公園に出掛けることや買い物、クッキングなどさまざまな活動を取り入れるだけでなく、活動を通して周囲の友だちと協力することの必要性を感じれるように活動内容を構築している。	・異年齢と関わりを多く持つことで、日常生活では味わうことのできない経験を積めるようにしていく。
2	・心地よく、落ち着ける場所。	・細やかな働き掛けのある中で、利用者が「ここにすれば、自分のことをわかってもらえる」「ここなら好きな友だちがいる」と落ち着いて過ごせる居場所、空間になれるように支援を行っている。	・利用者個人個人に寄り添うことや活動の難易度を調整することで安心して継続的に利用に繋がっている。
3	・保護者に時間と心に余裕が持てるように相談できるような環境を整えている。	・子育てに悩みを抱える保護者の相談やリフレッシュできる場所。 ・気兼ねなくそうだんできるように普段からコミュニケーションを密にとるように心掛けている。	・子育てだけでなく、一人で抱え込まないように協力者をつくることや専門的な視点から少しでも保護者が気持ちに余裕を持って子育てができるようにアドバイスや助言を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流活動が不足している。	・活動時間に限りがあることや利用人数も不安定であることで地域の子どもの活動する機会うい提供できていない。	・保護者や利用者からの要望を伺いながら、必要に応じて検討していく。
2	・保護者同士の交流機会がない。	・就労している保護者が多いため、参加が難しいとの声が多く、あまり必要性を感じていない。	・今後は、保護者の方のニーズに応じた開催方法がないかを検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズクラブLittle by little

公表日 令和 8年 2月 24日

利用児童数 7

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		2		5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			5	2	・開催はないが、参加の希望も特にな い。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	7					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7				・気になることは連絡するが、丁寧に 対応してくれている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				7	・就労中であり、参加が難しい為、特に 必要性を感じていない。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7				・活動風景が確認でき、満足している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	2			・行き渋りも見られている。 ・必要に応じて改善していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズクラブLittle by little(放課後等デイサービス)				公表日	令和 8 年 2 月 24 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			・活動内容に応じて、活動スペースを確保するようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。			・活動内容や利用人数に応じて人員の調整を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			・排尿や手洗いなどは、身長に合わせて使用できるように踏み台を設置し、調整できるようにしている。	・今後、必要に応じてバリアフリー化などの検討をしていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			・活動終了時に清掃活動を取り入れることや毎日、職員が清掃活動を行い、チェック表で確認している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			・個別で取り組める部屋を準備することやバーションを活用するようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。			・毎朝のミーティング時に必要事項については、確認するようにしている。また、必要に応じて会議を開催している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			・保護者からの意見はなかったが、ご意見を頂いた際は、職員会で議題に出し、改善に努めるようにする。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			・毎朝、朝礼やミーティングを開催し、情報共有を行っている。	・報告忘れや共有漏れも発生しているの為、情報共有方法で改善を行い、ミスがなくなるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			・第三者による外部評価は行っていない。	・今後、必要に応じて検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			・外部での研修がある際は、参加し、研修内容を職員間で情報を共有するようにしている。	・人員配置の関係上、参加が難しい場合もある為、改善に努める。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			・HPにて支援プログラムを掲載し、面談時には説明も行っている。	・適宜、修正などを行い、個々の利用者に対応できるように取り組む。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。			・日々の様子や保護者の意向、相談支援事業所からの情報などを密に確認し、ニーズや課題に向けた計画を立てるように心掛けている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			・個別支援会議を開催し、職員間で意見を交換し、作成するようにしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			・朝の朝礼やミーティングで支援内容を確認するように徹底している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			・保護者や相談支援員から頂いた情報と日々の活動から把握、確認を行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			・全利用者の支援計画に5領域を取り入れて作成するようにしている。その他の支援内容に関しては、家族の意向を確認するなどして、支援内容を設定するようにしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			・職員会を通して、担当者によるプログラムの立案を行っている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			・毎朝のミーティング時に活動プログラムの確認を行うようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。			・その日の利用者や人数を把握し、個別活動や集団活動などを考えるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			・朝のミーティングを徹底し、前日の活動の振り返りを行うことや反省点を確認していきたい。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			・朝のミーティングを徹底し、前日の活動の振り返りを行うことや反省点を確認していきたい。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			・支援後に活動での反省点や改善点を話し合いの場を設け、次の活動に活かせるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			・6か月以内のモニタリングを徹底している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。			・ガイドラインに沿った内容で社会生活を見据えた支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。			・日々の活動に加え、自由に過ごす時間を設けるようにしている。また、利用者の取り組みたい活動内容を確認するようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			・主に担当職員と児童発達支援管理責任者で参画するようにしているが、他の職員も参加が可能であれば、参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			・契約時にかかりつけの医療機関名や電話番号を確認するようにする。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。			・必要に応じて保護者の方に許可を頂き、学校送迎時に情報共有を行っている。	・情報共有が出来ていない学校もある為、必要に応じて改善していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			・送迎時に情報共有を行い、利用時の様子を確認するように心掛けている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			・現在、放課後等デイサービスから障害福祉サービスへの移行はありません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				・参加出来る際は、参加するようにしているが、人員配置や時間帯などで参加が難しい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			・現在は行っていない。	・今後、必要に応じて検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				・現在、参加は出来ていないが、今後改善していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			・利用時には、活動記録を公開するとともに送迎時に活動内容や課題を共有するようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				・今後、保護者からの要望に応じて検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。			・面談日を設け、対面にて説明するようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			・利用者保護者と日程を調整を行い、面談にて聞き取りを行うようにしている。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。			・面談日を設け、対面にて説明するようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			・6か月以内に面談日を設けている。それ以外にも必要に応じて電話連絡や面談を行うようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。			・現在、行っていない。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			・現在、苦情などが無いが、保護者からの意見、要望についてはその都度対応するようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。			・利用時には、連絡帳アプリを活用して活動の様子を報告している。保護者に方に許可をいただき、HPやSNSへ内容を公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			・個人記録が記録された書類は、鍵付きのロッカーにて保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			・視覚支援カードを活用し、伝達方法を工夫することや伝達方法を保護者と共有するようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				・現在、地域活動への取り組みは怒緒なっていない。今後、必要に応じて検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			・事故、災害、感染症マニュアルを定期的に更新している。 ・2か月に1回避難訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			・BCPは策定しており、2か月に1回の避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。				・現在、服薬、予防接種などを必要とする利用者はいないが、相談がある際は、必要に応じて取り組んでいく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			・食事の提供は行っていないが、利用開始時にアレルギー有無の確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			・安全計画を適切に活用するように定期的にも直しを行っている。	・現在、研修などの参加が出来ていない為、研修への参加を計画していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。			・普段の連絡先とは別に緊急連絡先を確認している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			・ヒヤリハットな事例があった場合は、報告書の記録、職員会で報告し、改善に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			・外部研修に参加し、研修内容を事業所内研修で共有するようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。			・外部研修に参加し、研修内容を事業所内研修で共有するようにしている。		